



高輪台

5月号

港区立高輪台小学校

〒108-0074 東京都港区高輪2-8-24 <http://takanawadai-es.minato-kyo.ed.jp/>
TEL: 03(5447)0616 FAX: 03(5447)5335

㊦くましく ㊧しこく ㊨かよく ㊩くわくする ㊪れにとっても ㊫ごちのよい 小学校

言葉で伝える～「単語」ではなく「文」で～

校長 杉山 太郎

新緑薫る5月を迎えました。校庭の桜も葉桜にかわり、初夏の訪れを感じられる季節になりました。

高輪台小学校の令和8年度も、スタートして1か月がたちました。新しいクラス、新しい友達と共に始まった学校生活ですが、落ち着いて送ることができています。

また、1年生も学校での生活にも慣れ、「おはようございます」と、校門で元気よく挨拶する姿を多く目にします。子どもたちの元気な挨拶は、私にとって1日の活力となっています。5月からは、1年生の本クラスがいよいよ始まります。新しい仲間と共に、元気に生活してくれることを願っています。

保護者会でもお知らせいたしました。今年度の高輪台小学校では、「言葉で伝えることの大切さ」を授業はもとより学校生活全般においても重視して指導しています。

(児童)「先生、トイレ。」(教員)「先生はトイレではありません。」(児童)「…。」

よく笑い話として示される言葉のやり取りです。『先生』『トイレ』といった単語による会話は、早くて簡単に用件を伝えることができます。その一方で、伝えたい事柄を正しく表しているかという点とそうではありません。この場合は、状況としてトイレに行きたいのだろうと推察することはできます。しかし、この例のように単語だけで状況を確実に把握できる場面というのは多くはありません。多くの場合は、相手にうまく伝わらないのです。その結果「自分は言ったのに分かってくれない」「自分はちゃんと言われていない」という、コミュニケーション上のトラブルに発展してしまうこともしばしばです。自分の置かれている状況を相手に応じた適切な言葉で伝えることで、相手に正しく状況を把握してもらうことができるのです。

学習の場面では、常に非常にたくさんの「言葉」のやりとりで理解したり、自分の考えを表現したりしています。

- 「学習する内容」を言葉(文字言語や音声言語)で受け取る。
- 「友達が学習した結果や考え」を言葉として受け取る。
- 「学習した結果」を言葉(文字言語)で記録する。
- 「自分が学習したこと」「自分が考えたこと」「自分が思ったこと」を言葉によって表現する。
- 「他者から受け取った事柄や考え」について言葉を使って判断し表現する。

他にもまだまだたくさんの場面がありますが、「言葉」は学校での教育活動を円滑にすすめるための基盤となっていることがお分かりいただけると思います。

学校では自分の思いや考えを100%相手に分かってもらえるように、正しく、文で伝えるための指導を工夫しています。

教職員も「お手本」となることができるように努力してまいります。ご家庭や地域でも、意識して子どもたちの言葉遣いに関心を寄せていただければ幸いです。



お知らせ

<「通学路の決まり」について>

高輪警察署前の交差点において、毎日、交通誘導(旗振り活動)を保護者の皆様に協力していただき、誠にありがとうございます。改めまして感謝申し上げます。

さて、児童の登下校においての「通学路のきまり」を年度初めに指導しています。

- ・ 信号がない横断歩道は渡らない。
- ・ リンコスと中華屋の間の横断歩道、レジデンスと高輪 3 丁目社宅の間の横断歩道は、使わない。
- ・ 東京高輪病院より先に住む児童は、警察側の歩道を利用し、東京高輪病院前の信号を渡る。
- ・ 白金高輪駅方面に住む児童は、伊皿子坂前の横断歩道ではなく、東海大前の駐車場へ渡る横断歩道のみを渡る。
- ・ 洞坂方面に住む児童は、カラキヤ前の押しボタン式信号のある横断歩道を渡る。

以上のことをご家庭でもご確認ください。

5月の目標

遊びのきまりを守ろう。


生活指導部

あたたかな日差しに、さわやかなそよ風が吹き、外で遊ぶことが楽しい季節となりました。緊張した面持ちだった子どもたちも、新しい学年や学級にもだんだんと慣れ、校庭で元気いっばいに体を動かしています。校舎内でも、友達と楽しそうにルールを守って遊んでいます。子どもたちの穏やかな笑顔が眩しいです。

本校ではけがの防止の観点から、学級の人数を分け、教室と校庭、教室と体育館などと、過ごす場所を振り分けて過ごしています。また、校庭ではボール遊びとそれ以外の遊びでエリアを分けたり、手打ち野球の場所やバスケットボールができる学年を限定したりしています。

どの場所でも共通するルールや、それぞれのルールがあり、それを一人一人が守ることで、みんなが安全に気持ちよく遊べるということを理解し、行動できるよう指導します。

着任の言葉

千代田区より異動してまいりました。元気な高輪台の子どもたちと出会えたことを、大変うれしく思っております。子どもたちが楽しく、安心して通えるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。(主幹教諭 浅沼 敏知)	世田谷区より異動してまいりました。子どもたちが安心して楽しく過ごし、友達と学び合えるように尽力します。よろしくお願いいたします。(主任教諭 小林 芳恵)	目黒区より異動してまいりました。児童が安心して学び、成長していけるよう尽力いたします。よろしくお願いいたします。(教諭 山本 侑唯)
この度、品川区から異動してまいりました。一日も早く学校に慣れ、子どもたち一人一人に寄り添った温かい指導ができるよう努めます。よろしくお願いいたします。(教諭 西郷 秀人)	大田区から異動してまいりました。子どもたちが、友達も自分も大切にできるような指導をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。(教諭 渡邊 圭吾)	この春から本校に着任いたしました。子どもたちの良さを大切にしながら、共に成長していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。(教諭 池田 萌衣)
この春から本校に着任いたしました。子どもたちが安全・安心に、そして楽しい学校生活を送れるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。(教諭 藤原 悠)	以前は福島県の小学校で教員をしておりました。子どもたちの声に寄り添いながら、楽しい授業づくりに励んでまいります。よろしくお願いいたします。(教諭 松本 翔平)	以前は埼玉県川越市の学校で教員をしておりました。思いに寄り添い、児童の自分らしさを大切にできる指導をしてまいります。よろしくお願いいたします。(教諭 外山 真奈)
児童の皆様、保護者の皆様、ご入学・進級おめでとうございます。学校生活で多くを学び、充実した日々を過ごしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。(区費主任事務 星野 智明)	港区内の御田小学校より異動してまいりました。環境整備に努めてまいります。よろしくお願いいたします。(区費用務 西 明憲)	

1年生を迎える会

特別活動部主任 高木 奈々



4月17日(金)に1年生を迎える会を行いました。最高学年の6年生が1年生と手をつないで入場し、会がスタートしました。今年は、全学年からの呼びかけの出し物を披露しました。それぞれの言葉を各学年で割り振り、2年生から6年生が一つになって学校生活の楽しさを1年生に教えることができました。また、2年生があさがおの種をそれぞれのクラスにプレゼントをしました。最後に、1年生からお返しに、可愛い振りをつけて「1年生になったら」を元気に歌うことができました。これから高輪台小学校の一員として、いろいろなことに挑戦して頑張してほしいと思います。

2年 はたらく消防写真会

2年担任 岩松 梓 西郷 秀人 宮本 保菜美 中山 由佳



4月23日(木)に、佛所護念会の高輪教会の駐車場で、消防写真会を行いました。本物の消防車を目の前にして、子どもたちは目を輝かせていました。細かいところもよく見て、丁寧に絵を描くことができました。消防士の方も消火活動の隊服を着用してくださいました。

相談室より

SC 山谷 祐子 黒須 けい 久保田 将大 SSW 岩渕 あづき

高輪台小学校には、3名のスクールカウンセラー(SC)と1名のスクールソーシャルワーカー(SSW)が在籍しています。スクールカウンセラーは心理的支援、スクールソーシャルワーカーは環境に働きかけた支援を行います。どちらも子供たちが安定した日々を送るための大切な支援です。

月曜日は山谷 SC、火曜日は岩渕 SSW、木曜日は黒須 SC、金曜日は久保田 SC が在室します。お子さんに関する事で、ご心配なことがありましたら、一人で悩まずお気軽にご相談ください。相談予約は、副校長や養護教諭、担任を通じてお申し込みいただけます。よろしくお願いいたします。

特別支援教室への通級及び学習支援員の配置(令和8年度2学期)の申込みについて

本校では、対人関係やコミュニケーションで困難さを抱えている児童が、すこしでも改善できるように特別支援教室(高輪台ルーム)を開室しております。社会性の獲得のために行われるソーシャルスキルトレーニングや、手先の巧緻性を高めるトレーニング、姿勢保持等を目的とした体幹トレーニング等、通常の学級の中では指導の時間が取りにくい学習を行います。また、昨年度より通常学級の一斉指導において、個別支援を行うスペシャルニーズアシスタント(SNA)が配置されています。いずれもご相談されたい方は5月18日(月)までに担任、特別支援コーディネーター、副校長までご連絡ください。